



令和7年9月19日発行
安来市立第三中学校
☎28-8534 FAX28-7376
文責：井上 明久

猛暑がようやく落ち着き、朝晩にわずかな涼しさを感じる季節となりました。2学期が始まって3週間が経ち、先日は体育祭での皆さんの素晴らしい活躍に、胸が熱くなりました。競技に全力を尽くす姿、仲間を懸命に応援する姿は、三中の誇りです。体育祭という大きな行事を終え、皆さんの顔には、やり遂げた自信が満ちあふれています。それぞれのクラスで、より一層、温かい絆が育まれていることだと思います。



さて、今学期は校内音楽会（合唱コンクール）や人権集会など、クラスや学年で協力する大きな行事が続きます。校内音楽会（合唱コンクール）は、音楽を通して心をつなげる時間です。一人ひとりの声が重なり、一つの美しいハーモニーとなっていく過程は、クラスの心をつなげる魔法のようなものです。歌が苦手な人もいるかもしれませんが、しかし、声を出すことだけが役割ではありません。周りの声をよく聴くこと、パートリーダーを支えること、そして、一つの歌を創り上げるために、自分にできることを探すこと。そうした一人ひとりの小さな努力が、最高のハーモニーを生み出します。

そして、もう一つ大切なのは、「温かい居場所づくり」です。人権集会では、人との違いを認め、誰もが安心して過ごせる学校について考えます。皆さんは、この学校で過ごす時間のほとんどを、クラスの仲間と分かち合います。だからこそ、日々の小さな思いやりが大切です。もし、困っている人がいたら声をかける。一人でいる人がいたら隣に座る。そうした小さな行動が、いじめのない、温かい居場所をつくる第一歩となります。

この2学期は、行事や係活動など様々なことに挑戦し、自分たちで最高のクラス、最高の学校をつくっていきましょう。この中学校に集う誰もが、輝ける存在です。皆さんの日々の努力が、きっとかけがえない思い出となり、未来へとつながっていきます。頑張りましょう！

～困難を乗り越え掴んだ、忘れられない今年の体育祭～

今年の体育祭は、生徒たちのひたむきな努力と、それを支える多くの方々の温かい心に包まれた、忘れられない日となりました。

当初、金曜日に予定していた体育祭は、台風による雨の影響でのコンディション不良のため、やむなく翌週月曜日に順延となりました。しかし、その日も雨の影響で、午後からのわずか2種目しか開催できませんでした。続く翌日も、残りの競技を終えることは叶わず、再び雨のため中断。生徒たちの「体育祭を成功させたい」という強い思いとは裏腹に、天候に恵まれない日々が続き、悔しさと焦りが募りました。



しかし、生徒たちは決して諦めませんでした。再々延期となった金曜日の朝、空には厚い雲が覆い、時折小雨もちらつく状況でしたが、生徒たちの瞳は希望に満ちていました。当初予定していた午後からの開催を、午前中のうちにすべての競技を終えるべく時間を早めての開催となりましたが、生徒たちはその短い時間の中で、持てる力のすべてを出し切りました。

グラウンドには、勝利を目指して懸命に走る姿、仲間を信じ、声を枯らして応援する姿が輝いていました。特に、各組のブライドをかけた応援合戦では、赤、青、黄の三色それぞれが、困難な状況を乗り越えてきたからこそ生まれる、熱い想いをぶつけ合いました。また、最終種目の色別リレーでは、バトンに想いを乗せ、最後の最後まで走り抜く姿に、観客席からはひときわ大きな拍手が送られました。

困難な状況を乗り越え、自分たちの力で成功を掴んだ今回の体育祭。この経験は、生徒たちの心に深い自信と、仲間との強い絆を育んでくれたことでしょう。私たちは、生徒たちのひたむきな姿から、改めて「決して諦めないこと」の大切さを学びました。

開催にあたり、温かいご声援を送ってくださった保護者の皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げます。



全力で戦い抜いた夏！～感動と成長の軌跡～

7月後半から行われた島根県中学校総合体育大会（県総体）では、本校から安来市代表として多くの部が出場し、日頃の練習の成果を存分に発揮してくれました。どの部も、最後まで諦めることなく、仲間と協力して全力で戦い抜く姿は、私たちに大きな感動を与えてくれました。

野球部は第二中学校との合同チームとして島根県中学校優勝野球大会で見事3位に入賞し、中国中学校軟式野球選手権大会への出場を果たしました。限られた時間の中で互いの持ち味を理解し、一つのチームとして戦う姿はまさに「One for all, all for one」を体現していました。中国大会の1回戦でも、チーム一丸となって岡山県代表チーム相手に勝利を掴み取りました。続く2回戦では、惜しくも広島県代表チームに敗れてしまいましたが、最後まで堂々と戦い抜いた姿は、私たちに大きな勇気を与えてくれました。



優勝候補と期待された男子バレーボール部は、県大会初戦で県優勝を果たした東出雲中学校と対戦しました。一進一退の攻防が続く中、先にマッチポイントを握るも、惜しくも逆転負けを喫しました。しかし、彼らの真剣な眼差しは、悔しさの中に「来年こそはリベンジを果たす」という強い決意を秘めているように見えました。この悔しさは、きっと彼らをさらに強くしてくれることでしょう。

陸上競技では、猛暑の中、積み重ねてきた努力の成果を発揮しようと懸命に走る姿がありました。なかなか力を発揮できず多くの選手が予選敗退となる中、男子走幅跳で3年の■■■■さんが4位入賞という素晴らしい結果を残してくれました。最後まで自分を信じ、跳躍を続けた彼の努力が実を結んだ瞬間でした。

男子ソフトテニス部で出場した■■■■・■■■■ペアが、1回戦で強豪のクラブチームのペアを見事撃破しました。この勝利は、日々の地道な練習が確かな力として身についたことを証明してくれました。また、卓球や水泳でも、それぞれの選手がベストを尽くし、最後まで諦めずに戦い抜きました。



また、吹奏楽部は8月10日(日)に出雲市民会館で行われた全日本吹奏楽コンクール島根県大会に出場しました。心をつににした堂々たる演奏は、聴衆に大きな感動を与えてくれました。結果は銅賞でしたが、練習を重ねてきたひたむきな努力が、音色となって響き渡る素晴らしい演奏でした。吹奏楽部の皆さん、感動をありがとう。皆さんの頑張る姿が、これからの学校生活に良い影響を与えてくれることを期待しています。

勝利の喜びも、敗北の悔しさも、すべてが生徒たちの成長の糧となります。この夏、グラウンドやコート、ステージで流した汗と涙は、決して無駄にはなりません。この夏、生徒たちを温かく見守り、応援して下さった保護者の皆様に心より感謝申し上げます。今後とも、生徒たちの活躍にご期待ください。

なお、より詳しい試合・コンクール結果につきましては、三中ホームページに記載していますので、そちらをご覧ください。

PTA親子奉仕活動の御礼

8月17日(日)のPTA親子奉仕活動には、早朝より多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。皆様の熱心なご協力のおかげで、校庭やその周辺の草刈りが隅々まで行き届き、見違えるほどきれいになりました。子どもたちが気持ちの良い環境で2学期を迎えられるのも、ひとえに皆様のご尽力のおかげです。

温かいお心遣いに深く感謝申し上げますとともに、心より御礼申し上げます。今後とも、本校へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

三中通信以外にも、学校ホームページで『活動の様子』を毎日お伝えしています！

<https://www.city.yasugi.shimane.jp/gakkou/daisan-jh/>

生徒たちの学校での様子はもちろん、生徒たち・先生方の頑張りをお伝えしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

